

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス ナインカレッジ
------	--------------------

公表日 2025年 1月 15日

利用児

童数 2024年12月15日 50名

回収数 29

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	2				今後ものびのびと活動できるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	3		1	入ってないからわからない。	状況に応じて検討いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1		1		工夫して対応させていただいております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	2				今後も変わらず清潔を保っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1				職員間で情報共有に努め、専門性のある支援力を高めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29					
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29				SSTのカリキュラムを増やしてほしい。	カリキュラムに変化を加え、満足が得られるような支援に繋がるようにしていきます。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1				カリキュラムに変化を加え、満足が得られるような支援に繋がるようにしていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	8	12	その必要性は感じない。	イベント参加や展示会への出展を今後検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1			丁寧な説明でした。	
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	5	4	5	あれば行きたいです。	保護者会や研修等を今後検討していきます。研修等のご案内をより分かりやすくお知らせいたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	5				今後も連絡帳やLINE等で共通理解をしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6	7	10	あれば行きたいです。	ご家族やご兄弟が共に参加できるイベントを検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23		1	2		引き続き、LINEで相談がある場合は対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25				インスタ、ブログ、毎回チェックしています。	引き続き、インスタやブログを更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2		4		既存のマニュアルを保護者様に分かりやすく周知出来るように工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	1	6		4月と12月に行っている訓練を、分かりやすく周知いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3		3		分かりやすく周知いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	1	3	急病の時、すぐにTELかけてくださり、助かりました。	引き続き状況に応じて速やかに対応していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1			いつも楽しみにしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1			いつも楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				いつも楽しみにしています。いつもよくして頂いて、コミュニケーションができてきたと感じています。送迎が増えたら、もっと助かります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ナインカレッジ				公表日	2025年1月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		状況に応じて検討していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		必要に応じて面談を行い、目標を目画に出来るようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			今回の評価表によって保護者様のご意向を把握出来たので、業務改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	4				
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	子どもの状況に合わせてプログラム内容を変化させております。	飽きているプログラムは見直し改善が必要。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	3	1	ご要望に合わせて個別に対応しております。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		4	次の日に行っております。緊急性のある事は、即時対応しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。		4		地域交流の機会が不足している。イベントや展示会への出展等、今後検討していきます。
	25	【放デイのみ】子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4		相談員と協力し、学校や園と連携していけるようにしていきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3	相談員等に助言を受けている。	児童の情報を共有していきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		必要に応じてイベント等を検討していきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		研修や情報共有等を検討していきます。
	32	【児童事業所・児童センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児童事業所・児童センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児童センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児童センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児童センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		「就労準備型」の為、小学1年生の利用がありません。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		卒業後に関わる機会がない。移行先との連携を検討していきます。
40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。			4	必要に応じて協議会への参加を検討していきます。	
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4			今後検討していきます。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4			先ずはご家族様との交流を深めた後に検討していきます。
	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2			家族に周知できていない。分かりやすく周知出来るように工夫していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4				
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2			おやつ提供がない為、今後食事の機会がある時に対応していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1			分かりやすく周知出来るように工夫していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4			ヒヤリハットの記録を習慣付けます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		4			必要に応じて支援計画への記載を進めていきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ナインカレッジ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「就労準備型」の放課後等デイサービスとして、パソコントレーニング、プログラミング、SST、実践トレーニングをカリキュラムに取り入れている事。	就労に向けて、より実践的にトレーニングが出来る様、一人ひとりの困り事を解決していけるように個別対応をしている。	得意な事でレベルアップを図り、自信に繋がられるよう、より高みを目指したカリキュラム作成。
2	プログラミングやWordやExcel等、パソコンが得意な児童が、得意な事を楽しみながらトレーニングが出来る事。	10名の集団ではあるが、個々のレベルに合わせて達成感が得られる様に授業内容を工夫している。	より充実した内容になる様に職員も研修等で知識を増やす。
3	子どもの事を十分に理解し、子どもと保護者のニーズに合わせた支援をしている。	保護者との面談内容を反映させたカリキュラム設定をしている。子ども達とのコミュニケーションを大切に、小さな困り事も見逃さないように支援している。	引き続き、子どもと保護者との信頼関係を築いていけるよう努める。困り事に合わせてカリキュラムを増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対しての家族支援プログラムやご家族が参加できる研修等が不足している。	本人支援に力を入れており、ご家族皆さまへの支援が出来ていない。	保護者参観や、ご家族が参加していただける行事を企画していく。
2	地域交流が少ない事。	本人支援に力を入れており、地域交流に参加出来ていない。	制作のカリキュラムで作成した物を、展示、販売へと繋げていける様に検討していく。
3	事故防止マニュアル、感染症対応マニュアル等、各種マニュアルの共有が不十分。	事業所入り口付近に設置しているが、ご案内が不十分である。	ご家族の方にご案内していきます。分かりやすくしたものを掲示します。